

## 令和元年度第 2 回知的障害者支援部会

日時) 令和元年 5 月 24 日 (金) 10 : 00 – 12 : 00 場所) 香川県手をつなぐ育成会  
参加者) 川部みどり園成人課 香川県手をつなぐ育成会 香川中部養護学校  
地域生活支援センターこだま 相談支援センターりゅううん  
高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

内容)

### ①川部みどり園の地域生活移行について

●川部みどり園より「地域生活移行支援事例集（抜粋）」にもとづいて説明あり。

・みどり園の地域移行 = H20-22 の取り組みで 60 名中 30 名が地域へ移行した。今は生活介護 & 入所 30 名 + 訓練 & 入所 5 名の定員。先の取り組みで移行しなかった方々はほぼ入所継続利用中で、新たな地域移行可能な方はいないのだろうかと思うこともある。

・今年度、訓練 & 入所で 1 名が地域移行支援を利用した。ゴールを設定してそれに向かっていくという支援の方向性である。

・地域で生活することが可能な方は地域へ移行して、入所施設が地域で本当にニーズをもつ方のための資源となっていければ。

### ●意見交換

・ご本人が移行して良かったこととして挙げていることは「マルナカに行ける」「毎日入浴できる」など当たり前の日常のことだと実感する。

・移行後に、施設に入所した人もいようだ。能力低下というよりも、在宅支援の手薄さが理由。

・親の立場では「移行」は「施設を出される」と思いがちだったが、色々な取り組みや動きを親も勉強していかないと。本人にとっては慣れた生活がいいのか新しい生活があるのか…、体験できる場所があれば。

・親の想いとしては、親亡き後に子どもの生活ができるだけ変わらないことを望む。

・養護学校卒業の際に、みどり園（児）入所者というだけで（保護者不在という点から困難ケースと思われ）、敬遠されることも。計画相談開始後は早いうちから相談支援に相談できるようになって良かった。

・みどり園の地域移行の際、ご本人の意思確認などは施設側がその多くを担っていた。地域移行において施設の果たす役割は大きいと実感する。

・一方で施設を必要とする方も多いが、入所したくても入れない。定員の問題や、行動障害等の理由により…施設の果たす役割も考えていく必要がある。

### ●部会として何に取り組むか

・訓練 & 入所の地域移行支援に携わった方から実施した様子を共有する、2 年間の限定入所を退所するときに合わせ地域移行を導入しているシステム作り、意思決定の支援方法について等

②8/2 渡部伸氏講演会に向けて準備を話し合った。会場定員枠のこともあり、一般に周知するスタイルではなく、関係間ごとに枠を決めてもらう方法で。

\* 次回 7 月 3 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00 香川県手をつなぐ育成会

\* 講演会后、「金銭管理」「性」など他テーマも取り上げていければ。